



## 教師は駅伝ランナー、保護者はマラソンランナー

校長 川上 治男

月日が過ぎるのは早いもので、平成 30 年度も残すところわずかになりました。3 月 1 日（金）に行われました「6 年生ありがとう会」では、5 年生が中心となって計画を進め、各学年とも素晴らしい準備・挨拶・出し物・飾り付け等を行ってくれました。笑いあり、感動あり、涙あり、6 年生を慕う下級生の熱い思いから、6 年生の存在の大きさを改めて感じました。また、167 名の子どもたちの確かな成長と、学校統合し新しくスタートした河原田小学校の伝統が、先



3 月 5 日 全校朝会時での賞状伝達（新大全国書初大会）

輩から後輩へ着実に引き継がれていることも確信しました。

話は変わりますが、以前に先輩の教師から「教師は駅伝ランナー、保護者はマラソンランナー」という話を聞いたことがあります。私たち教職員の仕事は一年一年が勝負です。駅伝ランナーに例えるなら、前任者から受け取った襷（たすき）を確実に次につなげなければなりません。向かい風あり追い風ありと様々ですが、地域の方々の多くの励ましや声援、保護者の皆様のご協力、そして何より子どもたちが成長していく姿に喜びを感じ、次の学年や次の学校へ、また次の担当者へと襷（たすき）をつなげることができます。今の時期は、肩にかけている襷（たすき）をはずし、手にしっかりと握りしめ次のランナーに渡そうと最後の力を振り絞っているところです。



一方、保護者にとって子育ては一生の仕事、まさしくマラソンランナーです。たくましく成長する子どもに喜びを感じながらも、大人から離れていく子どもに一抹の寂しさを感じることもあれば、反抗期を迎え、保護者の言うことも聞かず腹がたつこともあるでしょう。時には子育てに悩み、立ち止まることもあるかもしれません。マラソンコースも駅伝コースと同じように山あり谷ありですが、駅伝とは違って、マラソンは果てしなく長い道のりです。焦らず気長にやっていくしかありません。長い道のりも前を向いて一歩ずつ歩みを進めさえすれば、ゴールは確実に見えてきます。河原田小学校区には、いつも温かく見守り応援して下さる地域の皆様があります。私たち河原田小の教職員も、河小っ子の保護者・地域の皆様と一緒に応援団です。駅伝ランナーとして、マラソンランナーとして、共に頑張りたいと思います。



今年度最後の学校便りとなりました。子どもたちの安全をいつも見守ってくださった皆様、学校行事や諸活動にご協力いただいた皆様、河原田小の教育方針をご理解いただき多大なご支援をいただきました皆様に、教職員一同心よりお礼申し上げます。一年間ありがとうございました。来年度も引き続き、ご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

## 新しいリーダー

3月1日（金）の「6年生ありがとう会」では、5年生が全校のリーダーとして活躍する姿をたくさん見せてくれました。3月5日（火）からは4年生と5年生による新しい組織での委員会活動がスタートしました。さらに、3月8日（金）には、5年生が各教室のワックス掛けを行いました。様々な活動を通して、4年生は高学年、5年生は最高学年としての意識が芽生え始めていることが感じられました。



4年生が6年生から委員会での活動のやり方について説明を受けました。真剣に聞く姿が印象的でした。



新しい組織での活動開始です。写真は広報委員会で4・5年生と一緒に活動する様子です。



5年生が教室のワックス掛けを行いました。一人一人が一生懸命に取り組む姿が見られました。

## 校長との会食

3月の中旬に校長と6年生との会食会が行われました。会場は校長室。校長の質問に6年生が一人ずつ答え、笑い声が聞こえる楽しい雰囲気での会食会となりました。小学校の思い出を胸に、中学校で活躍することを楽しみにしています。



校長から6年生に「小学校6年間で思い出に残っていることは？」「中学校に行って頑張りたいことは？」などの質問が出され、6年生は楽しそうに答えていました。

## 子どもたちの活躍

新大全国書初大会	特選	3年 末武怜奈 5年 米津結菜
	準特選	4年 中村日咲 5年 清水知夏
	団体賞	佐渡市立河原田小学校
新潟県硬筆書き初め大会	特選	1年 野口莉玖 2年 末武夏奈 後藤琉亜
	準特選	1年 戸田圭音 2年 溝口正一郎



←団体賞でいただいた賞状と盾  
(校長室前に飾ってあります)